

ノ對策ヲ講究シタシト提議異議ナク可次委員ハ  
議長ニ於テ指名スル事トナリ議長ハ次ノ五名ヲ指  
名セリ

柿崎甚 一 石倉松次 野下勝之助

日下部千代一 佐々木 某

以上終リテ議長ハ閉會ヲ宣ハ

右及申(通)報候也

全國一般報告 國領 吾 一郎

吾々ノ生産階級運動ハ客觀的ニ將主觀的ニヨリ分析サレ批判  
サレタ觀察ニナレバナラナイ私ハ茲ニ

一、資本主義發展過程ニ於ケル労働運動ト没落期ニ於ケル労働  
運動ノ状況ヲ概略申述ヘタシ

大正七年頃ノ好景業時代ニ於ケル運動ト今日ノ運動トハ全く異  
ツテ居ル即チ政府ノ生産階級ニ對スル恩恵政策方針ニ於テ又内  
部的ニ於テモ急進派漸進派ノ運動ホアツタ好景業時代ノ運動ハ之  
ヲ爭議ニ思ハシ多少ノ壓迫ヲ減ハカシメテ大體ニ於テ勝利ニ歸シタ長期間ニ亘  
ラス部分的ノ經濟的要求ハ獲得スル事ヲ出来タ而シテ當時ノ労働組合ハ甚  
ク貧弱ナモノヲアツタ政治運動ハ生産階級ニナカツタニテハナイ唯一般的  
ナル個々ノモノヲアツタ資本主義ニ對スル全体的ノ闘争ニナカツタ、